

第47回全日本都市対抗テニス大会

さいたま市史上初めて決勝戦に進出し準優勝となりました！！



第47回全日本都市対抗テニス大会が、7月18日－21日滋賀県大津市大石緑地スポーツ村で行われました。

第45回栃木大会以来の全国大会ですが、今回は一般男女に有望な若手を加えた一方、ベテランにも錚々たるメンバーを揃えて、ノーシードながら密かに上位進出を目指した戦いとなりました。

しかし、全国大会で簡単に勝てる相手はそうありません。それを、初戦の第八シード高崎市との対戦で思い知らされます。本当に指一本の勝負で勝敗が決し、二日目の二回戦鹿児島市に勝って第二シードの京都市と対戦。最終男子シングルスまで纏れた試合は、タイブレーク9-7と言う劇的な勝利で最終日の準決勝に残りました。そして、第七シードつくば市との対戦も三勝三敗の女子シングルスに勝利してさいたま市として初の決勝進出を決めました！

決勝戦は、第一シード横浜市との対戦でしたが、ダブルスを二勝三敗として男女シングルスまで勝敗を持ち込みましたが、最後は突き放され二勝四敗で準優勝となりました。

【試合内容】

1Rは、第八シード高崎市との対戦です。女子ダブルス星野姉妹の快勝でスタートしましたが、男子の山本・池田ペアがタイブレークを落とし、続く45男子の木村・石田ペアも初戦で調子が上がりず敗れました。45女子の河田・野口ペアも序盤リードしますが追い上げに会い7-8と逆転され、さらに相手のマッチポイントを迎えます。ここで相手の強打を何とか掬い返した野口選手のロブボールが指一本ラインに掛かりデュース。続くノーアドを取ってタイブレークに持ち込み再逆転勝ちしました。その後も一進一退で最終男子シングルスまで纏れた試合は、手塚選手が粘る相手を8-6で振り切り4-3で勝利しました。9時開始の対戦が終了したのが15時過ぎのマラソンマッチで、本当に45女子の勝利が大きかった！

翌日の2Rは鹿児島市との対戦です。鹿児島市の男子にインカレの強豪選手がいて、女子とベテランの頑張りが期待されます。結果は、善戦した男子以外の女子複星野姉妹や、男子55才の塩澤・関根ペアも危なげなく勝利し、4勝1敗で第二シード京都市との3Rに臨みます。

3R(QF)の京都市は、女子に島津製作所のレギュラー選手を揃えた強豪です。また地元でもあり、多くの応援団が来ています。女子複で、星野姉妹も善戦しますが、京都ペアには隙が無く敗退。一方、男子は

手塚・山本ペアに変更し、手塚選手のサーブス力と山本選手のスマッシュが決まり8-4で勝利。45男子は敗れましたが、45女子の河田・野口ペア、55男子の塩澤・関根ペアが勝って3-2で男女シングルスに。星野桃花選手は日本リーグで活躍する相手に一時リードする展開も7-9で逆転負け。勝敗は男子の手塚選手に掛かりました。相手は日本リーグで活躍していたプロ選手で手塚選手のサーブも返してきます。先に三本のマッチポイントを迎えますが取り切れず、タイブレークでは相手に三本のマッチポイントを握られます。これを凌いで迎えた4度目のマッチポイントをノータッチエースで決め逆転勝ちで4強へ！ベスト4進出は40回の鹿児島大会以来ですが、台風で前倒しとなったため、最終日に残るのも初めてですが、ここまで来たら初の決勝進出を目指します。

準決勝は、男子に筑波大学のトップ選手を抱える第七シードつくば市との対戦です。男女ダブルスは1-1でベテラン3種目を勝ち切れるかがポイントです。昨日迄当たりの出ていなかった木村・石田の45男子ペアが本来の当たりを取り戻し8-2で快勝。45女子、55男子とも序盤4-0とリードしますが、気温の上昇とともに追い上げられます。55男子の塩澤・関根ペアは5-8で逆転負け。45女子は、熱中症気味で今にも倒れそうな野口選手が、最後に気力のプレーで9-7と勝利。これまた、最終の男女シングルスにかかり、男子の池田選手は筑波大のトップ選手に喰らい付きましたが1-6で敗退。一方女子の金井選手は0-2から6ゲーム連取で4-3とし、初の決勝進出を決めました(気温上昇でシングルスより6Gマッチに変更)

決勝戦は第一シード横浜市との対戦。男女のメンバーは金井さんと同じ日本リーグ・リコーの選手達で同門対決となりました。リコーのレギュラー選手との対戦となった男女ダブルスは、星野姉妹も終始リードされる苦しい展開。男子の手塚・池田ペアは途中リードするものの微妙なジャッジもあり4-6と逆転負け。ベテラン勢は復調した45男女ペアが危なげなく勝利した一方、疲労がピークに達した55男子ペアは敗れ2-3で最終シングルスへ。こちらも男女のエースを投入しましたが、横浜市のNo. 1は流石の出来で桃花選手も次第に押され出します。一方、男子の手塚選手は終始リードして終盤を迎えましたが5-4打ち切りとなり、最終結果は2勝4敗で準優勝となりました。

少し長い対戦記となりましたが、本当に一回戦の高崎市から一ポイントに勝敗が掛かる厳しい対戦となりました。二回戦の鹿児島戦も4-1打ち切りながら実質的には4-3の内容です。そしてQFの京都戦は正に死闘でした。最終日も朝から30℃を超える酷暑で、昼からのシングルス以降は1セットマッチに短縮される程の環境下での展開でした。決勝戦は、最頂目にも勝ちを厳しく思いましたが、三日間5対戦全選手の頑張りや補い合い初の決勝戦に臨み、多くの観客や関係者の皆さんに恥ずかしくない試合をお見せ出来たかと監督として満足する思いです。これも選手の皆さん、関会長、富永マネージャーを始め、多くの皆さまのサポートの賜物と感謝を申し上げます。

記：さいたまテニス協会強化部長・監督

清水宏明

..... (フォトギャラリー)



初日高崎市戦後



2日目鹿児島市戦後



2日目京都戦後



2日目京都戦後(スコア)



最終日準決勝つくば市戦後



最終日決勝横浜市戦後

結果詳細はこちらで

<https://www.jta-tennis.or.jp/tournaments/tabid/129/Default.aspx>

選手紹介

一般男子



手塚瀬留・山本翔太・池田賢矢

一般女子



星野遥香・金井綾香・星野桃花

ベテラン男子1部



木村大貴・石田洋平

ベテラン女子



野口こころ・河田景子

ベテラン男子2部



塩澤正樹・関根浩王



初日選手役員記念撮影



表彰式後(一般男女)